

赤谷プロジェクト 近況報告

千葉市中学校への環境教育の実施

5月23日(土)、千葉市稲毛中学校の生徒を対象に環境教育を実施しました。

これは例年「いきもの村」近くにある高原千葉村で、千葉市の中学校が総合学習の一環として体験学習を実施しており、赤谷センターからも「いきもの村自然体験」として環境教育プログラムを提供しているものです。



「いきもの村」での自然観察



センサーカメラ設置の実習

この取組は千葉森林管理事務所とも連携して森林・林業についての事前学習と組み合わせることにより、森林の役割、「赤谷の森」、赤谷プロジェクトの取組について、より深い理解が得られるよう考慮しているものです。

「いきもの村自然体験」では、センター職員を講師として「いきもの村」周辺での自然解説、センサーカメラの設置や植物の見分け方の実習などを行いました。

自分たちが利用している水の源である利根川上流域「赤谷の森」の動植物や赤谷プロジェクトの取組にもっと関心をもってもらえればと思います。

「赤谷の森自然散策」の開催

5月24日(日)、広く一般の方々に「赤谷の森」の自然環境について学んで頂くため、「赤谷の森の植物・動物」をテーマに「赤谷の森自然散



ブナの生態について解説

策」を開催しました。当日は、小学生から高齢の方まで、群馬県内から20名を超える方々が参加しました。

「赤谷の森」に到着するまで、送迎バスで赤谷プロジェクトの取組を紹介した後、新緑の小出俣林道奥の大カツラまで散策しながら、赤谷プロジェクト地域協議会の長浜陽介氏が「赤谷の森」の動植物についてガイ



終点の大カツラで休憩

ドしました。

また、カラマツの漸伐試験地ではセンター職員が、赤谷プロジェクトの人工林から自然林に還元する取組や植生モニタリング調査について解説しました。

現地では、ちょうどトチノキ、ホオノキ、タニウツギなどの花が満開で、タゴガエルの産卵やエゾハルゼミも観察され、参加者から歓声の聲が上がりました。

今回の自然散策では、「赤谷プロジェクトの取組は面白い」「森に棲んでいる生き物の話は新鮮だった」「大カツラやブナの新緑が素晴らしい」などの感想が参加者から聞かれ大変好評でした。今後も「赤谷の森」の素晴らしさを一般の方々にも知ってもらおう取組を進めていきたいと考えております。